

訓母こと金孝南氏は「孝進様、興進様、榮進様が来て霊界に迎えたがっておられる。」

と早くお父様の生命維持装置を外すことつまり安楽死させることをお母様に勧めていきます。

TMが金孝南の言いなりに成っている事に対してTFはTMIに警告されたが、TMIは何故、その警告を無視し金孝南と関係を深めたのか？

⇒親戚かも知れませんが、家族でもない金孝南氏が言う事ではありません。メシアの生死に絡んでメシアの地上での命をより短くすることを進言する信仰姿勢は理解できません。

また霊界から云々は法律には通用しないでしょうし、家族に対しては大変な不謹慎です。またそのようにお父様の意識があるにもかかわらず安楽死を勧めることはお母さまを韓国の法律を犯させ殺人犯なるように誘導したという事実を家庭連合はこのビデオで証言したということです。

下記のお父様の涙は『お母様が安楽死＝自分を殺そうとしている事を知っての』嘆きと悲しみの涙であったのではないかと思います。

お父様は目でお母さまを探され、涙を流された。

七男様は夫婦愛、烈の心情の心情世界がわからずに完全に誤解している。

お母様のお父様に対する夫婦愛、烈の心情がお父様を安楽死させる事と説明する家庭連合幹部こそ、**脳死状態的誤解**に陥っているのではないのでしょうか？

⇒最後の直前までお父様は意識は明確であったことが分かります。入院されて聖和されるまで僅か21日しかありません。こんなにも早くこれだけ意識がはっきりしている状況で生命維持装置を外してしまうのは、明らかに法律上殺人犯になります。亨進二代王と國進様はお母様が殺人犯にならないように必死にお母さまを守られたのです。

• 2015年7月5日 「背教の悪しき時代」 文亨進様 より

その箇所を拾ってみます。

『3年前私達は病院で大喧嘩をしていました。清平の女がお母様を洗脳して、お父様の生命維持装置を取ろうとしていました。それは、私が世界教会に対して、奇跡が起こるのを願って、お父様の為に祈りや敬拝の条件を立ててくださいという公文を出している時でした。』

七死復活されたTFの八度目の復活を信じていたのに…！ 中枢幹部は違っていた…！

全世界の教会がこのような条件を立てているとき、彼らは生命維持装置を取ろうとしていました。病室の中には世界のトップリーダー達がありました。

何故、中枢幹部がお母様が意識のあるTFの安楽死に反対しなかったのか？

そこには朴ポーヒー、金ヨンイ、金孝南、、、と私と国進兄さんがいました。義理の娘達はそこに入れてもらえませんでした。その時お母様はお父様の生命支持装置を取ろうとされました。

お母様の生命維持装置を外す行為＝再臨主である夫を殺そうとする行為

私は、「お母様、あなたはそれをする事ができません。」と言いました。そうしたら、お母様は私にびんたをくわせました。私はお母様に、「もしあなたがそれをすれば、あなたは殺人者になります。50年間の苦勞を無駄にしないでください。」と言いました。

家庭連合はサンクチュアリ対策の批判のビデオで認めた！ お母様は意識がハッキリあるお父様を

朴ポーヒー以外の全ての36家庭のトップリーダー達は、皆黙っていました。その中の1人は「皆いつかは死ぬからね。」とまで言いました。私はそれを私自身の目で見ました。

イエス様(お父様)を売ったユダ(韓国幹部)が家庭連合にもいたのか？

彼らは、「お母様それをしないでください」と言う代わりに、ただ次のステージへの**政治的な判断**をしたのです。この話はあなた達を不愉快にさせますか。私はそう願います。

あなた達は目覚めなければなりません。国進お兄さんと私は「お母様、あなたがそれをすれば、あなたはメシアの殺人者になります。」と言いました。国進お兄さんはとても強い言葉でそれを言いました。』

亨進様と国進様の証言によると、お父様に早く霊界に行って欲しいと思っている食口がいた事には驚き！それがTMと36家庭大幹部だった事実に言葉は失います！

これを踏まえて、家庭連合の亨進二代王と國進様に対する批判を改めて聞いてみると、明らかに韓国の法律を違反しようとしていたという証言になります。

家庭連合は夫婦愛、烈の心情の心情世界がわからないと亨進様・國進様を批判していますが、法律に夫婦愛も烈の心情世界も関係ありません。

原理ではサタンは最大実権行使をしてイエスを殺害したとあります。定められた日を覚悟して行かれたという主張は亨進様も家庭連合も同じです。しかしその定められた期日より早める行為はサタンの最大実権行使です。

再臨主の死を安楽死で早める行為

アボジのその流された涙に最後まで生きようとされた意思がこの対策ビデオからも伺えます。

それゆえ、これ程 意識がハッキリされておられるなかで、ご自分の安楽死が主張されていることにアボジはどれほどの恐怖と**最後のみ旨を破壊するな！**という辛い思いをされたことでしょうか。

お父様は最後の 訓読会で『お母様と金孝律はみ旨を破壊した責任を取れ…』と語られた事と重なる気がする…！

この対策ビデオは尊厳死・安楽死という法律違反・殺人未遂があったという証言に他ならないのです。

(質問者) 家庭連合はサンクチュアリ対策ビデオの中で「最後に清平でお母様と目で会話をされた」という説明をしています。そういうことは可能だったのでしょうか。

家庭連合の対策ビデオは『お母様が意識のあるお父様を安楽死による殺人をしようとしていた事』を認める証言を天地に宣言してしまった事になる。

(国進ニム) それでは家庭連合はお父様に最後まで意識があったと認めているわけですね。すると意識が完全である時にお母様はお父様を殺そうとしたということを家庭連合は認めたことになります。お父様がまだ健康であった時にお母様はお父様を殺そうとしたということを家庭連合も認めているようです。

《 裏面終り 》